

令和7年度 鹿角市立尾去沢小学校 学校評価書

目 標		市の施策の基本方向	評価指標（学校の実践課題）	自己評価 中間	外部評価 中間	自己評価 年度末	外部評価 年度末	＜参考表示＞ 市の施策の柱
確かな学力と高い志を育てる教育の充実	基本方向1	自己実現のために必要な確かな学力の定着を図ります。	主体的に学び、共に探究し続ける子どもの育成 基本的学習習慣の形成と基礎学力の定着 読解力育成のための読書活動の推進	3	3			①なぜ学ぶのかを明確にした主体的・対話的で深い学びの実現 ②望ましい学習集団の育成による児童生徒の学力向上対策 ③読書活動の推進と読解力の育成
	基本方向2	自分の未来を自分で切り開き、ふるさとを支える気概をもった人材を育てます。	キャリア諸能力の育成のための体験的活動の充実 ふるさとによさに気づき愛着心を醸成する活動の充実 ふるさとを支える気概の育成	3	3			①社会的・職業的自立を目指した教育活動の推進 ②ふるさとへの理解を深める体験的な活動の推進 ③鹿角市の未来を支え盛り上げる人材の育成
	基本方向3	情報活用能力とコミュニケーション能力をもった、自分らしく輝く人材を育てます。	1人1台端末を活用したGIGAスクール構想の推進と情報モラルの育成 外国語教育・国際理解教育の充実 学んだことを発信する能力の育成	3	3			①ICTを活用した情報活用能力と情報モラルの育成 ②グローバル化に対応する能力の育成 ③他地域との交流によるコミュニケーション能力と発信力の育成
豊かな心と健やかな体を育み、将来の自立を支える教育	基本方向4	豊かな心を育みます。	自己有用感と主体性を育む集団づくりの推進 思いやりの心を育む道徳的実践の場の設定 様々な人たちとの交流を通じた自他を大切にする心の育成	3	4			①自己有用感と主体性を育む学習集団の育成 ②規範意識や思いやりなどを育成する道徳教育の充実 ③共生社会の形成に向けた人権教育の推進
	基本方向5	健やかな体を育みます。	よりよい生活習慣の定着 望ましい食習慣の形成 継続的な体力づくりの実践による体力の向上	3	3			①規則正しい生活習慣の確立 ②食育の推進 ③体育授業及び運動部活動の充実と体力の向上
	基本方向6	子ども一人一人に応じた、きめ細かな教育を推進します。	特別支援教育の充実 園・小・中の円滑な接続につながる効果的な連携 不登校、問題行動等の未然防止のための取組と対応	3	4			①特別支援教育の充実 ②就学前相談の充実と小・中学校との円滑な接続 ③不登校児童生徒の居場所づくりと学校復帰に向けた支援の充実
学校教育環境の充実を図り、地域とともに取り組む、多様で質の高い教育	基本方向7	子どもの成長を支える魅力的で安全・安心・良質な学びの場をつくります。	校舎・校地の日常的な点検・整備等による安全・安心な環境づくり 通学の安全対策 各種避難訓練の計画的実施と安全計画（危機管理マニュアル）の改善と活用	3	4			①安全・安心・良質な学校環境づくりの推進 ②通学の安全対策 ③学校の危機管理対策
	基本方向8	教職員のモチベーションと資質の向上を図ります。	教職員の校内外研修の充実 人事評価制度を活用し、教職員1人1人に応じた面談 業務改善計画による教職員の働き方改革の推進	3	4			①教職員研修の充実 ②人事評価制度とキャリアアップ研修の充実 ③教職員の働き方改革の推進
	基本方向9	地域とともに特色ある学校づくりの推進に努めます。	学校運営協議会や学校評価の充実 地域人材やボランティア、地域素材の積極的な活用 特色ある学校運営の推進	3	3			①学校運営協議会を核としたコミュニティ・スクールの推進 ②地域学校協働推進事業による学校の活性化 ③学校の創意工夫による特色ある学校経営の推進

外部評価の評価基準	
5	きわめて良好
4	良好
3	おおむね良好
2	やや不十分
1	努力を要する

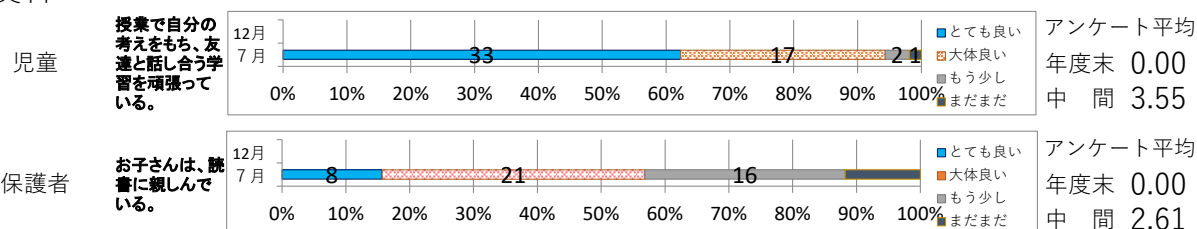
自己評価の評価基準		
5	実現状況は極めてよい	達成率90%以上
4	実施状況は良好である	達成率80～90%
3	実施状況はおおむね良好である	達成率60～79%
2	実施状況はやや不十分である	達成率50～59%
1	実現状況は不十分で努力を要す	達成率49%以下

基本方向1「自己実現のために必要な確かな学力の定着」

児童生徒の状況		自己評価		外部評価		外部評価者のコメント
年度初め	R6は国語を研究教科にして読解力の向上を目指した。叙述を根拠にすることや対話で考えを深める実践を積んだ。今後も考えをノートに表したり分かりやすく考えを話したりすることは継続した指導が必要。	中間	3	中間	3	先生方が情報共有をして、同じ考え方の指導を図っているのがよい。読書に力を入れており、先生方もおすすめの本として紹介することで多くの子が興味を持って読み始めることができる。読書によって読解力やプレゼン力がつくと思う。
年度末		年度末		年度末		
自己評価の概要と学校の改善策	【中間評価】今年度も国語を研究教科にし、主に対話を重点にした取り組みを進めている。掲示物やノート指導など全校共通で実践事項を決めて進めている。また、先生方全員が授業提供をして、授業を見合うことで効果的な指導について共有を図っていく。その際授業者は指導案を作成し、どこが授業のポイントなのか示すようにする。研修会では参観者の感想を基に授業改善に向けた支援について共有を図っていく。また、「学習に力を入れよう」という生活目標を9～11月に設定する。基本的な学習習慣の定着に向けて、2学期始業式で「学習の約束」について一斉指導をする。読書については、読書量を決めたカードを使って、目標達成に向けて進んで読書できるように取り組んでいく。					
	【年度末評価】					

評価指標（学校の実践課題）	具体的な取組内容
主体的に学び、共に探究し続ける子どもの育成	- 課題設定、学習過程、単元構想の工夫 - 自力解決する力や話し合う力を身につけるための手立て - 見方・考え方を明確にして授業に臨む
基本的学習習慣の形成と基礎学力の定着	- 基本的学習習慣の形成に向けた掲示物、カード等の活用 - 朝学習の充実と力試しテストの実施 - パワーアップタイムや対策問題作成で個別指導の充実
読解力育成のための読書活動の推進	- 昼読書や読み聞かせ、家庭学習読書の日、移動図書館との連携など読書活動の充実 - 読書の広がりやねらった学年おすすめの本の設定

<資料>



【3年生国語授業研究会】

国語授業で登場人物の気持ちについて自分の考えや友達の考えを発表し、対話によって深めています。



【掲示物を活用してのノート指導】

普段の授業ノートや家庭学習でお手本となるノートを1階ホールに掲示しました。



【読書活動の推進】

読書量アップ目指して目標を決めて読みました。おすすめ本の紹介もしました。

基本方向2「自分の未来を自分で切り開き、ふるさとを支える気概をもった人材の育成」

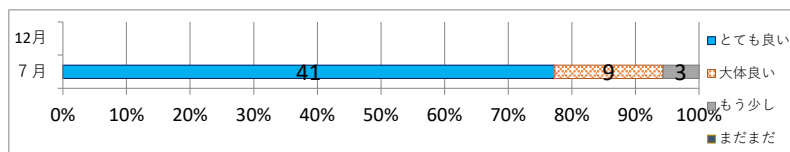
児童生徒の状況		自己評価		外部評価		外部評価者のコメント
年度初め	地区運動会や山神社パレードには学校として参加するが、居住地によっては地域行事に参加したくてもできない児童もいる。児童のアンケートからは尾去沢や鹿角が好きな子の割合が高い。	中間	3	中間	3	地域と学校がかかわった行事を体験することで尾去沢への親しみにつながっている。今年度は部活動の試合と運動会が重なったので、慎重に日程調整をしてほしい。行事後の振り返りを共通実践していくことで、尾去沢が好きな子が増えてほしい。
年度末		年度末		年度末		
自己評価の概要と学校の改善策	【中間評価】 児童は各行事に参加はするが、学習したことを次に生かしていくことがやや不足している。そこで行事が終わった後、全校で同じような形式のプリントを使い、ふり返しを行うことで、よりよい行動や意欲向上に向けた手立てとする。そして、それをファイルなどに積み重ねていくようにする。また、生活科や総合で地域に出向き、かかわって学習を進めるなど、全ての子が地域と確実にかかわっていける有効な学習内容を取り入れる。そしてこれまでの学習をまとめた年間活動計画の整備を冬休み中に行う。					
	【年度末評価】					

評価指標（学校の実践課題）	具体的な取組内容
キャリア諸能力の育成のための体験的活動の充実	・育成するキャリア能力を明確にした体験活動の計画と実施
ふるさとのよさに気付き愛着心を醸成する活動の充実	・「かなやまソーラン」、「からめ節」、「刻の翼」等伝統の継承、ボランティア活動の実施
ふるさとを支える気概の育成	・地域行事（山神社祭、市民運動会等）への参加 ・ふるさとかづの絆プランの実施

<資料>

児童

尾去沢や鹿角のよさを
知っている。



※4が最高値

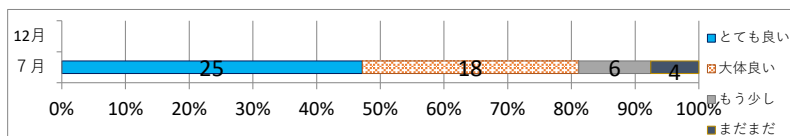
アンケート平均

年度末 0.00

中間 3.72

児童

地域の行事に進んで参
加している。



アンケート平均

年度末 0.00

中間 3.21



【1・2年生生活科 まちたんけん】

市街地方面の町探検をしていたら、会館でサロンをしていました。そこに飛び入り参加し、地域の方々と交流しました。



【かなやま大運動会】

今年度から小・中・地域の合同運動会を実施しました。それぞれが単独で行う種目やみんなでやる種目がありました。



【山神社祭パレード】

山神社祭を盛り上げるために、保・小・中・地域でソーランを踊りました。今年は見所を代表者が説明しました。

基本方向3「情報活用能力とコミュニケーション能力をもった、自分らしく輝く人材の育成」

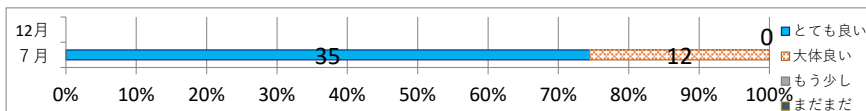
児童生徒の状況		自己評価		外部評価		外部評価者のコメント
年度初め	外国語ではALTの支援もあり、積極的に英語でのコミュニケーションをとっている。ICTではCanva、ロイロノート、Googleアプリ等を活用し、自分の考えを表現している。	中間	3	中間	3	ALTが休み時間に一緒に遊んだり、授業中も明るく振る舞ったりして、英語に親しみやすくしているのがありがたい。ICTを取り入れた授業が当たり前になり、技術も上がっている。将来的に考えるとためになる取組だと思う。
年度末		年度末		年度末		
自己評価の概要と学校の改善策		【中間評価】外国語では、ALT実施報告の回覧をしてALTが行っている効果的な指導を職員で共有し、授業に生かしていく。また、1学期はALTが来校しているのに学校行事のため全学級に入れなかったことがあった。ALT来校日と学校行事が重ならないように計画していく。ICTについては授業でよく活用され、児童も操作方法に慣れてきている。2学期には情報モラル教育の実践として、朝学習の時間に文部科学省のサイトにあるものを使って全校児童が確実に情報モラルについて学べるようにする。また、昨年度作成したタブレット活用スキル系統表も活用し、学年の到達目標に合わせた指導を進めていく。				
		【年度末評価】				

評価指標（学校の実践課題）	具体的な取組内容
1人1台端末を活用したGIGAスクール構想の推進と情報モラルの育成	・ICT活用方法の職員研修 ・ICTを活用した授業実践 ・情報モラル教育の推進 ・ALTと連携した学習
外国語教育・国際理解教育の充実	・進んでコミュニケーション活動に取り組むための支援 ・日常生活において英語を使用する機会の確保
学んだことを発信する能力の育成	・ICTを活用した発表・発信等の表現力の育成 ・外国語を使ったやりとり・発表等の表現力の育成

<資料>

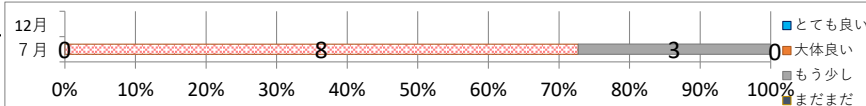
児童

外国語の授業で進んでコミュニケーション活動に取り組んでいる。



教職員

情報モラル教育の推進とICT活用を推進する支援はどうだったか



※4が最高値

アンケート平均
年度末 0.00
中 間 3.77

アンケート平均
年度末 0.00
中 間 2.73



【ALTと連携した授業】

ゲーム等を取り入れながら、進んでコミュニケーションをとれるように支援しています。



【授業でのICT活用】

算数の問題づくりの様子です。低学年でも数字を入れるだけで問題ができるように工夫しています。



【パソコンクラブの活動】

「Canva」を使った成果物を作成しています。クラブの中でも発表したり発信したりしています。

基本方向4「豊かな心の育成」

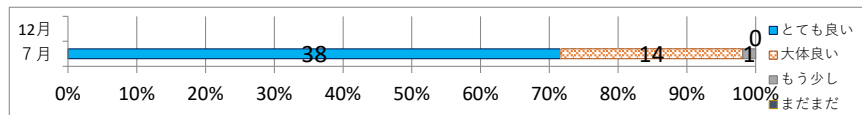
児童生徒の状況		自己評価		外部評価		外部評価者のコメント
年度初め	上級生が下級生を思いやって行動しており、豊かな心が育っている。1年生を迎える会での温かい雰囲気や掃除・登校時の上級生の優しくアドバイスする様子が見られる。	中間	3	中間	4	掃除の班を始め様々な場面で上級生と下級生が一緒に何かをする姿を見かける。自然と人を思いやる力がついていると思う。本校ならではの上級生の優しさ、思いやりある行動は学校での指導のおかげもある。この環境の中でもある程度上下関係も意識できるように先生方に見守ってほしい。
年度末		年度末		年度末		
自己評価の概要と学校の改善策		【中間評価】 集団登校について、2学期の始業式で生徒指導主事から集団登校の約束を確認し、集団登校への積極的な参加を勧めていく。委員会活動においては、児童の自主的な活動につながるように、児童のアイデアを生かした活動をする。清掃については教師と一緒に掃除を行い、その場で個別指導をすることでよりよい掃除につながるようにしていく。				

評価指標（学校の実践課題）	具体的な取組内容
自己有用感と主体性を育む集団づくりの推進	・ hyperQ-Uを活用した学級づくり ・ 活躍の場（学級活動・係や委員会活動・クラブ活動）の意図的設定や称揚
思いやりの心を育む道徳的実践の場の設定	・ 生活目標、生活のやくそく、新かなやま運動などを通した、基本的生活習慣の育成
様々な人たちとの交流を通した自他を大切にする心の育成	・ 児童会による集会活動 ・ 縦割り清掃班で役割を果たしたり、協力したりする活動 ・ 教育相談、なかよしアンケートの実施

< 資料 >

児童

きまりを守って、みんなと仲良く生活している。

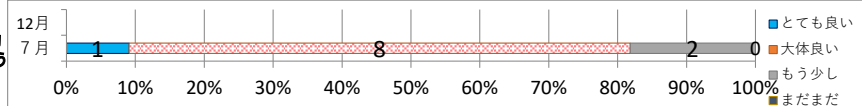


※4が最高値

アンケート平均
年度末 0.00
中 間 3.70

教職員

児童会活動などを通して、自主的な実践態度を養うための支援はどうだったか



アンケート平均
年度末 0.00
中 間 2.91



【集団登校の様子】

上級生が1年生に対して優しい声かけをしています。掃除の時などもアドバイスをしています。



【1年生を迎える会】

1年生の自己紹介がありました。このあと、全校で伝言ゲームなどをして楽しい時間を過ごしました。



【全校集会の委様子】

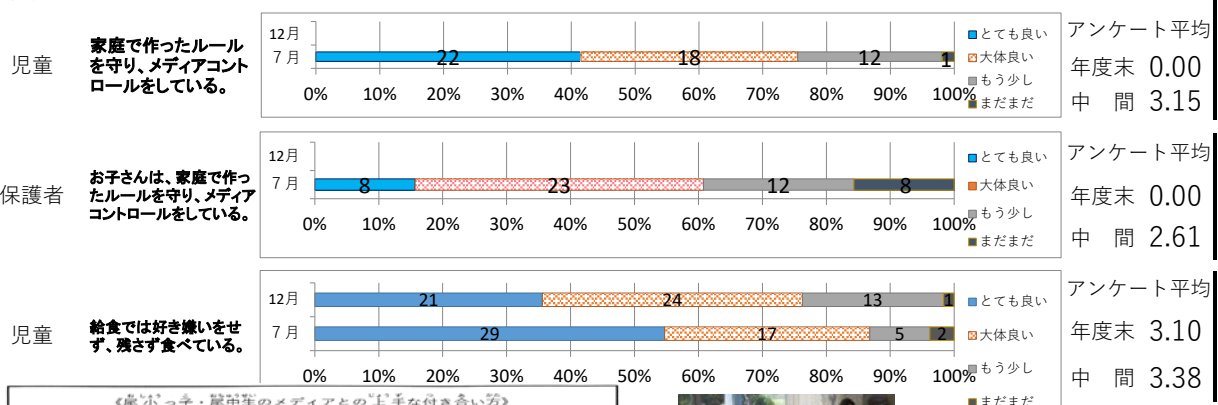
運営委員会が司会をして、生活目標の取組について健康委員が発表しました。

基本方向5「健やかな体の育成」

児童生徒の状況		自己評価		外部評価		外部評価者のコメント
年度初め	メディアコントロールを軸とした規則正しい生活習慣を身に付けることが課題である。また、熱中症予防や熊対策をとっていることから体力不足が気になる。外で遊ぶことも少なくなっているようだ。	中間	3	中間	3	猛暑続きで、体を動かす時間が減っていると思う。秋以降に体力向上について指導をお願いしたい。また、メディアのことや食育のことで学校としても改善できるようにと様々な取組をしているので継続してやっていただきたい。
年度末		年度末		年度末		
自己評価の概要と学校の改善策	【中間評価】 メディアコントロールについては今後も期間を決めて取組を継続し、児童への指導や家庭への啓発をしていく。また児童が必要だと感じてメディアコントロールができるよう、委員会活動で呼びかけたり教師からの日々の声かけを充実させたりする。食育については、給食時間を確保するためにも準備時間を10分にすることを目標に声かけ・支援をしていく。体力不足改善のために、健康委員会で休み時間の運動を奨励していく。					
	【年度末評価】					

評価指標（学校の実践課題）	具体的な取組内容
よりよい生活習慣の定着	・ライフスタイルアンケートの結果の周知と保護者の啓発 ・各検診結果による保健指導 ・保健集会、学校保健委員会の実施
望ましい食習慣の形成	・給食指導 ・食育指導
継続的な体力づくりの実践による体力の向上	・体育行事の計画と実施 ・新体力テストの結果分析と活用 ・朝運動でのマラソン・縄跳びの奨励

<資料>



《魔がっす・魔がっすのメディアとの上手な付き合い方》

- ①小学生は9時以降には眠るようには時間の使い方を工夫しましょう。
- ②9～10時の間は寝ましょう。
- ③寝る1時間前まではメディア（ゲームやテレビ、タブレット）の電源をオフにしましょう。
- ④ゲームやスマートフォンは1日60分までを目安に使用しましょう。
- ⑤勉強中は、ゲームやスマートフォンを別の部屋に置くようにしましょう。

【メディアコントロール】
メディアコントロールするために小中で同じ目標に向かって取り組んでいます。生活習慣を改善するための大きなポイントです。



【給食試食会の様子】
1年生はPTAで保護者にも給食体験してもらいました。



【朝マラソンの取組】
朝学習の時間にマラソン記録会に向けて練習しました。

基本方向6「子ども一人一人のニーズに応じた、きめ細かな教育の推進」

児童生徒又は学校の状況		自己評価		外部評価		外部評価者のコメント
年度初め	いじめについては調査からも重大事案になっていない。不登校についてはその傾向がある児童について昨年度から継続して個別に合わせた支援をしており、学校生活の適応に向けて進めている。	中間	3	中間	4	地域や関係機関との連携をしており、日々情報共有をしているということでありがたい。成長と共に仲間意識や対人について困り感を感じる子どもがいると思うので、細かいところで先生方もアンテナを張って見守ってほしい。
年度末		年度末		年度末		
自己評価の概要と学校の改善策		【中間評価】 気になる児童については、担任と養護教諭との連携がよく図られていた。一部の児童のアンケートから「学校が楽しくない」とあった。また、昨年度の外部評価者コメントから、できる限り関係機関との連絡を取り合ってほしい、ということもあった。そこでこれもび相談や比内支援学校かつの校の教育相談機能を活用したり、夏休み中にハニーハムと放課後児童クラブから夏休み中の児童の様子について情報共有をしたりした。これらのことから夏休み後の学校生活への適応に向けて支援するとともに、学校が楽しくなるように行事や授業を進めていく。 【年度末評価】				

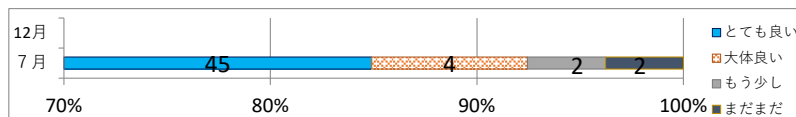
評価指標（学校の実践課題）	具体的な取組内容
特別支援教育の充実	・校内支援委員会の充実 ・記録や協議による特別な支援を要する児童の理解と対応 ・就学前・小・中の情報の確実な引継ぎ
園・小・中の円滑な接続につながる効果的な連携	・小・中連携プロジェクトの各部の推進 ・小・中合同行事等の実施（運動会、P T A 研修会、熟議等）
不登校、問題行動等の未然防止のための取組と対応	・児童を語る会の実施により、全職員での共通理解 ・ケース会議の実施等でチームとしての対応

<資料>

※4が最高値

児童

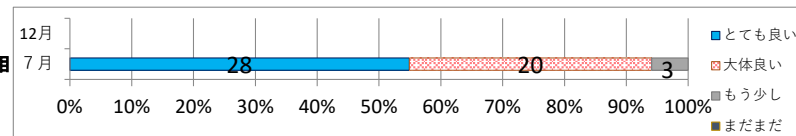
尾去沢小学校は楽しいです。



アンケート平均
年度末 0.00
中 間 3.74

保護者

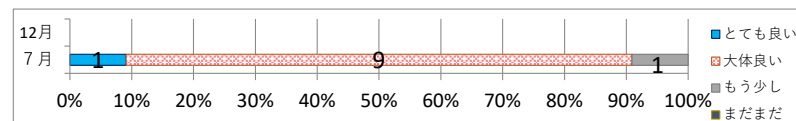
学校は子どもに関する相談に対応してくれている。



アンケート平均
年度末 0.00
中 間 3.49

教職員

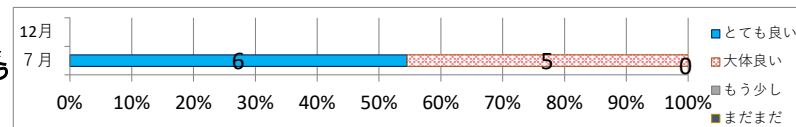
特別支援に関する取組はどうであったか。



アンケート平均
年度末 0.00
中 間 3.00

教職員

不登校や問題行動未然防止に向けた取組はどうであったか。



アンケート平均
年度末 0.00
中 間 3.55

基本方向7「子どもの成長を支える魅力的で安全・安心・良質な学びの場づくり」

児童生徒又は学校の状況		自己評価		外部評価		外部評価者のコメント
年度初め	校舎内外の環境整備がよい、という声を来客の方々からいただいている。今年度からtetoruを活用したメール配信で学校からの連絡を発信し協力していただいている。	中間	3	中間	4	tetoruは害獣対策にも防犯にも役立っていると思う。通学の見守りも行われているのでありがたい。前回の会議で話題になった通学路について早速要望を出して一部改善の見込みがあるのはよかった。
年度末		年度末		年度末		
自己評価の概要と学校の改善策	【中間評価】 害獣出没の際、児童の登下校について保護者にメール配信を即座にするとともに、地区の公的機関や自治会長に学校対応についてメールをすることで安全対策がとれた。職員の危機管理意識を高めるために、不審者対応職員研修を2学期中に開催すること、打合せや職員会議などを活用して職員の研修を行うことを予定している。児童の避難訓練は予定の3回の他にも短時間で出来る訓練を取り入れて、活用の力をつけたい。昨年度の課題であった通学路の要望については、8月に行われた通学路点検で伝えることができた。防護柵については路肩の広さの関係で設置は出来ない、街灯については80m間隔を確認するということがあった。南坂の整備については枕木と砂利を補充するそうである。					
	【年度末評価】					

評価指標（学校の実践課題）	具体的な取組内容
校舎・校地の日常的な点検・整備などによる安全・安心な環境づくり	・ 月1回(学校安全日)の点検・報告 ・ 日常的な施設不備についての情報共有・対応 ・ 教育委員会への修繕の依頼
通学の安全対策	・ 交通安全教室において警察や地域の方々との連携した指導 ・ 集団登校時のあいさつ運動や管理職の見守り、下校指導ではSLGの協力 ・ 害獣出没時など緊急メールでの保護者への周知
各種避難訓練の計画的実施と安全計画（危機管理マニュアル）の改善と活用	・ 年3回の避難訓練(①地震、②火災、③総合※児童のみの判断) ・ 事故防止教室(不審者、交通事故、クマ被害等、実態に合わせる) ・ 訓練等後の反省と安全計画の見直し・改善

<資料>

児童

避難訓練や交通安全教室で勉強した「自分の命は自分で守る」方法が分かっている。

12月

7月

49

2

2

80%

90%

100%

■とても良い

■大体良い

■もう少し

■まだまだ

※4が最高値
アンケート平均
年度末 0.00
中 間 3.89

保護者

学校は、登下校の際の安全を確保し、緊急時の連絡体制も整えている。

12月

7月

37

12

2

0%

10%

20%

30%

40%

50%

60%

70%

80%

90%

100%

■とても良い

■大体良い

■もう少し

■まだまだ

アンケート平均
年度末 0.00
中 間 3.69

教職員

校舎や校地の安全・安心な環境作りに向けた施策はどうであったか。

12月

7月

5

6

0

0%

10%

20%

30%

40%

50%

60%

70%

80%

90%

100%

■とても良い

■大体良い

■もう少し

■まだまだ

アンケート平均
年度末 0.00
中 間 3.45

教職員

危機的状況における適切な対応を身に付ける上で避難訓練などの支援はどうであったか。

12月

7月

2

7

2

0%

10%

20%

30%

40%

50%

60%

70%

80%

90%

100%

■とても良い

■大体良い

■もう少し

■まだまだ

アンケート平均
年度末 0.00
中 間 3.00

基本方向 8 「教職員のモチベーションと資質の向上」

児童生徒又は学校の状況		自己評価		外部評価		外部評価者のコメント
年度初め	働き方改革については、通知表年2回の発行、学担の持ち時数25時間以下等を進めている。研修については継続して国語を取りあげ、全校共通実践事項が徹底されるように進めている。	中間	3	中間	4	先生方での話し合いがよくできている。時代に合わせ、先生方も働きやすい環境作りをすることは、モチベーションアップにもつながることだと思うので、改善していくのはいいと思う。下校時刻を繰り上げることは、広く意見を聞いて学校と保護者で協力体制がとれてから実施するとよい。
年度末		年度末		年度末		
自己評価の概要と学校の改善策	【中間評価】 校内外研修の充実では、9月に大館市立矢立小に複式授業参観を実施し、研修した先生が他の先生へよい実践を紹介して本校の支援に生かしていく。また、先生方が提案授業をすると、参観する先生方が自習体制を組まなければならない、授業を見合う会がうまくいかなかった。今年度は支援員・サポーターの先生方に補充の協力を得て、担任全員が授業参観できるように体制を整える。働き方改革については、朝学習の時間を短くし、昼読書をなくして下校の時刻を早め、放課後の教職員の仕事を確保していく。10月以降に実施予定で、保護者にも周知を図っていく。					
	【年度末評価】					

評価指標（学校の実践課題）	具体的な取組内容
教職員の校内外研修の充実	・授業研究会、授業を見合う会、研究主任おすすめ授業、県センター講座など研修の奨励
人事評価制度を活用し、教職員1人1人に応じた面談	・管理職と教職員全員との人事評価面談による、個々の目標と成果の明確化
業務改善計画による教職員の働き方改革の推進	・業務内容の精選と効率化

< 資料 >

教職員

校内外の研修が主体的に取り組めるような校内体制はどうであったか。

12月

7月

0%10%20%30%40%50%60%70%80%90%100%

■とても良い

■大体良い

■もう少し

■まだまだ

380

※4が最高値
アンケート平均
年度末 0.00
中 間 3.27

教職員

教職員がキャリアアップに生かすための人事評価面談や日常的な面談はどうであったか。

12月

7月

0%10%20%30%40%50%60%70%80%90%100%

■とても良い

■大体良い

■もう少し

■まだまだ

47

アンケート平均
年度末 0.00
中 間 3.36

教職員

業務改善に向けた働き方改革はどうであったか。

12月

7月

0%10%20%30%40%50%60%70%80%90%100%

■とても良い

■大体良い

■もう少し

■まだまだ

272

アンケート平均
年度末 0.00
中 間 3.00

基本方向9「地域とともに特色ある学校づくりの推進」

児童生徒又は学校の状況		自己評価		外部評価		外部評価者のコメント
年度初め	尾去沢地区学校運営協議会が5年目となった。教職員がさらに学校運営等に参画できるように数名ずつ協議会に参加し、説明していく機会をもった。また、米作りの学習ができなくなったことから、ふるさとに関する学習を模索していかなければならない。	中間	3	中間	3	地域とのかかわりが深く、地域行事や市民センター行事に参加しているところが特色ある教育の1つだと思う。今年度新たに「ふるさと写真学習」を取り入れたのもいい取組だと思う。今後も地域の力をお借りして、交流の場が増えていってほしい。
年度末		年度末		年度末		
自己評価の概要と学校の改善策	【中間評価】 5月に行った学校運営協議会への職員参加は、自習体制を組まなければならない反省点が多かった。そこで、運協の日は全校⑤校時にして、支援員の先生方に帰りの会の補充を頼んで参加することで、自習体制を組まなくてもよい手立てをとる。米作り学習の代替として、写真学習を取り入れた。地域の方で写真に詳しい藤井さんを講師に招き、写真の上手な撮り方を学習した上で、ふるさとのよさを撮影し、それを市民センター祭りに出品したり、パンフレット作りに活用したりする。本校の特色ある教育活動としては、他校の実践例と本校の強みや弱みを挙げ、職員会議でワークショップの演習をして先生方でアイデアを出し合いたい。					
	【年度末評価】					

評価指標（学校の実践課題）	具体的な取組内容
学校運営協議会や学校評価の充実	・学校運営協議会の充実 ・学校評価結果を生かした経営改善の推進 ・保護者・地域への積極的な情報発信
地域人材やボランティア、地域素材の積極的な活用	・地域人材や地域素材の発掘と活用 ・尾去沢市民センターや学校支援ボランティアとの連携
特色ある学校運営の推進	・地域に笑顔と元気を届ける取組 ・本校の強みや弱みを生かした学校運営

<資料>

